

関係機関の長 各位

弘前大学教育研究院医学系長 若林孝一  
(公印省略)

感染生体防御学講座教授候補者の推薦について (依頼)

謹啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、本学系基礎医学領域では、大学院医学研究科感染生体防御学講座教授候補者を下記により公募することになりました。

つきましては、御多用中のところ誠に恐縮に存じますが、貴機関または関係方面へ周知いただき、適任者がおりましたら御推薦を賜りますようお願い申し上げます。

おって、参考までに「弘前大学大学院医学研究科感染生体防御学講座教育・研究組織に関する提言」(大学院医学研究科教授会承認)を添付しておりますので申し添えます。

謹言

記

- 1 職名・人員 教授 1名
- 2 所 属 (教員組織) 教育研究院医学系 基礎医学領域
- 3 専任担当 (教育研究組織) 大学院医学研究科 感染生体防御学講座
- 4 担 当 科 目 大学院医学研究科  
免疫制御学講義・演習・実験実習, 感染生体防御学講義・演習・実験実習  
医学部医学科  
微生物学講義, 免疫学講義, 微生物学実習
- 5 採用予定時期 平成31年 4月 1日
- 6 応 募 資 格 次の要件すべてを満たす者  
(1) 基礎医学としての微生物学, 感染症学, 免疫学を中心とした教育及び研究に造詣が深い者。  
(2) 博士の学位を有し, 大学院医学研究科 (博士課程) において主指導教員として教育研究指導ができる者。
- 7 応 募 書 類 (1) 履歴書 【様式1】  
写真 (カラー, 4cm×4cm, 3ヶ月以内に撮影したもの) を貼付してください。  
(2) 研究実績目録 【様式2の1の1~2の7】  
以下の区分・順序により記載してください。なお, 研究業績目録のうち学位論文には◎印を, 主要業績 (別刷提出論文) には○印を, 応募者氏名にはアンダーラインを付してください。また, 欧文原著, 欧文症例報告, 欧文総説については, 掲載年にかかわらず, クラリベイト・アナリティクス社「Journal Citation Reports」による直近のインパクトファクター (IF) 値を記入してください。  
①原 著  
②症例報告

- ③総説
- ④その他
- ⑤著書
- ⑥学会発表（特別講演、宿題報告、シンポジウム、パネルディスカッションなど  
主要なもの、及び国際学会）

(3) 研究教育等実績一覧 【様式3の1～3の3】

- ①教育実績
- ②社会及び学会等における活動実績
- ③研究補助金等の実績

(4) 教育、研究に対する抱負 【様式4の1～4の2】

- ①教育に対する抱負
- ②研究に対する抱負

(5) 主要業績の別刷（10編以内） 各2部

別刷は、事後に返却いたします。

(6) 関係者の推薦書

厳封の上、別便で推薦者から直接送付してください。

※ 応募書類（様式等）については、大学院医学研究科ホームページ「教員公募情報」  
(<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/web/teacher.html>) からダウンロードできます。

8 応募期限 平成30年 7月31日(火) 17時必着（日本標準時）

9 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 選考の過程において、応募者周辺の方に対する調査を実施する場合があります。  
また、選考委員との面接、模擬講義、教育・研究に関する抱負等の発表のため弘前  
大学にお越しいただく場合があります。

10 応募書類送付先

〒036-8562 青森県弘前市在府町5 弘前大学大学院医学研究科内  
教育研究院医学系（基礎医学領域）教授候補者選考委員会 宛

※ 封筒に「教授公募書類（感染生体防御学講座）在中」と朱書きし、簡易書留、レターパッ  
ク、EMS、その他法令で認められる送付方法により、送付記録の残る方法で送付してくださ  
い。

11 問い合わせ先

〒036-8562 青森県弘前市在府町5  
弘前大学医学研究科総務グループ（総務担当） 高田  
TEL : 0172-39-5194 E-mail : jm5194@hirosaki-u.ac.jp

12 その他

- (1) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等  
と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援  
策については、男女共同参画推進室ホームページをご覧ください。  
(ホームページのURL <http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>)
- (2) 弘前大学は全学的な教員組織として「教育研究院」を設置しています。教員は教  
育研究院に置かれるいずれかの学系に所属し、教育研究組織である学部、大学院研  
究科、附属病院などの専任担当として教育、研究、診療等の業務に従事することと  
なります。なお、必要に応じて他の教育研究組織の教育や業務、あるいは教員養成  
部門における教育を担当していただく場合があります。
- (3) 弘前大学は教員の任期制を導入しており、大学院医学研究科専任担当の教授の任  
期は10年（再任可）となります。
- (4) 採用後の給与については、年俸制（国立大学法人弘前大学年俸制適用職員給与規  
程）が適用となります。
- (5) 応募書類により取得する個人情報、教授候補者の選考及び採用時の人事、給  
与、福祉関係等必要な手続きにのみ利用するものであり、この目的以外で利用又は  
提供することはありません。

## 感染生体防御学講座教育・研究組織に関する提言

### 1. 講座のあり方と方向性

感染生体防御学講座は基礎医学としての微生物学、感染症学及び免疫学に関する教育を行い、当該分野の発展に寄与することを目的とする。そのためには、先端的かつ国際的な研究を推進することが求められ、また、人材の育成に努める必要がある。

### 2. 教育

大学院ならびに学部教育において、微生物学、免疫学を含め、感染生体防御学講座が果たしてきた教育機能を継続することが求められる。また、感染制御に関連した教育を充実させるために、臨床講座等との連携を進める。

### 3. 研究

微生物学及び免疫学を基盤とし、病原微生物の解析に基づく感染制御に関する先進的研究を推進することが求められる。

### 4. 社会活動

上記の教育・研究活動に関連した社会活動を積極的に進めることが求められる。

### 5. その他

上記の諸活動を実施するために、感染生体防御学講座の教授を選考することが必要である。特に教授候補者には、当該分野での優れた教育指導と先端的研究を推進できる人物が求められる。

平成28年11月16日

#### 感染生体防御学講座教育・研究組織提言委員会

委員長	若林孝一
副委員長	鬼島宏
委員	上野伸哉
委員	伊東健
委員	田坂定智
委員	大門眞
委員	萱場広之